

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-188
研究課題名：肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除の長期成績を含めた比較検討(propensity matching を用いた検討)
研究期間 西暦 2014年7月（倫理委員会承認後）～2017年3月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（患者の臨床データ ）
上記材料の採取期間 西暦 2003年1月～2010年12月
意義、目的：腹腔鏡肝切除は2010年に保険収載され、現在広く普及しつつある。肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除の meta-analysis や case-matched analysis は、最近海外から報告されてきているが、国内からの報告は未だ認められていない。本研究は、肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除とを比較し、長期成績を含めた手術成績を明らかにする事を目的とする。現時点で、肝細胞癌に対して腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除の2群で RCT を予定することは、各施設間での腹腔鏡下肝切除の位置づけが異なることや、腹腔鏡肝切除の短期成績の有用性が報告されてきている中で、現実的ではない。そのため Propensity score (PS) matching で開腹肝切除群と腹腔鏡肝切除群の術前の背景因子を一致させることで、バイアスを減らし RCT に準じた研究を行う。
方法：肝臓内視鏡外科研究会世話人施設（45施設）において、2003年1月～2010年12月（8年間）までの肝細胞癌に対する初回手術症例を対象とし、症例の個別データを集積する。Propensity score (PS) matching で開腹肝切除群と腹腔鏡肝切除群の術前の背景因子を一致させ、各症例に関する PS を算出し、腹腔鏡下肝切除群と開腹肝切除群の matching を行い、比較検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口 980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学病院 肝胆膵外科 講師 森川孝則 022-717-7205